



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 東・福
コード番号 8596 URL <https://www.k-lease.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 礪山 誠二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総合企画部長 (氏名) 小嶋 良一 (TEL) (092) 431-2530
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,963	△30.6	1,203	5.7	1,210	7.5	819	3.7
2023年3月期第1四半期	10,031	76.4	1,138	27.9	1,126	28.3	791	13.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 836百万円(8.1%) 2023年3月期第1四半期 773百万円(16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	36.06	—
2023年3月期第1四半期	34.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	179,195	38,369	21.2
2023年3月期	175,514	37,889	21.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 38,044百万円 2023年3月期 37,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	14.50	25.50
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.50	—	13.00	25.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△13.1	4,000	△27.0	4,000	△26.2	2,600	△55.6	114.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	25,952,374株	2023年3月期	25,952,374株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	3,212,539株	2023年3月期	3,214,539株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	22,738,010株	2023年3月期1Q	22,726,970株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～6月30日)におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月8日から季節性インフルエンザと同等の「5類感染症」へ移行されるなど、社会経済活動の正常化に向けた動きが着実に進展するとともに、国内企業の業績も堅調に推移し、わが国の景気は緩やかな回復傾向を示しています。当社グループが属するリース業界においても、業界全体の2023年4月～6月累計のリース取扱高は、1兆89億円、前年同期比4.0%増となりました。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

一方で、インフレ懸念に伴う世界的な金融引締めが続く中で、海外景気の下振れが懸念されていることや、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による資源・原材料価格の高騰を受け、当面、国内物価の上昇傾向が続くことが予想されます。加えて、コロナ融資の返済期限到来による企業倒産は増加傾向にあり、金利や為替の変動と併せて、今後の事業環境の動向には注視が必要と考えています。

このような厳しい経営環境が続く中、「事業基盤の拡充」と「企業態勢の高度化」を基本戦略に掲げる当社グループの中期経営計画「共創2024 ～Challenge for the Future～」は、最終年度(2024年3月期)を迎えております。

中期経営計画にて事業成長ドライバーと位置付ける環境関連ビジネスへの注力に加え、株式会社西日本フィナンシャルホールディングス(以下「西日本FH」)との間で締結した資本・業務提携に関する契約に基づく、西日本FH顧客基盤への当社ソリューション提供などの協業拡大にも取り組み、中期経営計画最終年度の目標(営業利益：40億円、営業資産：1,660億円)の達成に邁進しています。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、前年同期に保有資産の入替えに伴う大口の不動産販売収入を計上したことにより、売上高は6,963百万円(前年同期比30.6%減)となりましたが、各セグメントにおいて環境関連分野向けを中心に営業資産の積み上げ等が順調に推移し、営業利益は1,203百万円(前年同期比5.7%増)、経常利益は1,210百万円(前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は819百万円(前年同期比3.7%増)となりました。また、営業資産残高は3,554百万円増加し166,810百万円(前期末比2.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リース・割賦

商業用設備や環境関連分野向けなどの新規取扱高が増加したことにより、売上高は4,843百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は458百万円(前年同期比17.2%増)となりました。なお、営業資産残高は84,985百万円(前期末比1.6%増)となりました。

②ファイナンス

営業資産の積み上げに伴い利息収入等が増収となり、売上高は440百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は259百万円(前年同期比0.7%増)となりました。なお、営業資産残高は33,610百万円(前期末比2.2%増)となりました。

③不動産

前年同期に保有資産の入替えに伴う大口の不動産販売収入を計上したことにより、売上高は1,213百万円(前年同期比73.2%減)となりましたが、賃貸収入や仲介手数料収入の増加により営業利益は508百万円(前年同期比11.8%増)となりました。なお、賃貸不動産の増加により営業資産残高は43,609百万円(前期末比2.9%増)となりました。

④フィービジネス

自動車関連の手数料収入及び保険代理店収入が堅調に推移したことにより、売上高は149百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は78百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

⑤環境ソリューション

売上高は305百万円（前年同期比0.4%増）となりましたが、太陽光発電における出力抑制の影響により営業利益は62百万円（前年同期比25.3%減）となりました。なお、太陽光発電所を新規に取得したことで営業資産残高は4,605百万円（前期末比5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は179,195百万円（前期末比2.1%増）と前連結会計年度末に比べ3,681百万円の増加となりました。これは主に、リース債権及びリース投資資産の増加639百万円、割賦債権の増加804百万円、営業貸付金の増加709百万円、賃貸不動産の増加1,173百万円などです。

負債合計は140,825百万円（前期末比2.3%増）と前連結会計年度末に比べ3,200百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加6,044百万円、未払法人税等の減少2,192百万円などです。

純資産合計は38,369百万円（前期末比1.3%増）と前連結会計年度末に比べ480百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加472百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,095	5,661
受取手形及び売掛金	124	60
割賦債権	22,773	23,577
リース債権及びリース投資資産	56,067	56,706
営業貸付金	32,900	33,610
賃貸料等未収入金	304	278
販売用不動産	14,467	14,423
その他	471	622
貸倒引当金	△343	△338
流動資産合計	132,861	134,603
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産（純額）	25,806	26,980
その他（純額）	5,506	5,449
賃貸資産合計	31,313	32,429
その他の営業資産	3,487	3,693
社用資産	567	564
有形固定資産合計	35,369	36,686
無形固定資産	384	586
投資その他の資産		
投資有価証券	5,418	5,709
その他	1,480	1,609
投資その他の資産合計	6,898	7,318
固定資産合計	42,652	44,591
資産合計	175,514	179,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,376	2,125
短期借入金	29,545	37,477
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	2,465	272
引当金	437	367
その他	5,892	5,735
流動負債合計	40,916	46,177
固定負債		
社債	1,800	1,800
長期借入金	84,879	82,991
引当金	37	37
退職給付に係る負債	331	345
資産除去債務	415	431
その他	9,245	9,041
固定負債合計	96,708	94,647
負債合計	137,624	140,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	811	811
利益剰余金	34,179	34,652
自己株式	△996	△995
株主資本合計	36,927	37,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	643
その他の包括利益累計額合計	628	643
非支配株主持分	332	325
純資産合計	37,889	38,369
負債純資産合計	175,514	179,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	10,031	6,963
売上原価	8,231	5,039
売上総利益	1,800	1,923
販売費及び一般管理費	661	719
営業利益	1,138	1,203
営業外収益		
受取配当金	28	25
為替差益	7	19
その他	3	5
営業外収益合計	39	50
営業外費用		
支払利息	19	17
株主優待関連費用	30	23
その他	1	2
営業外費用合計	51	43
経常利益	1,126	1,210
特別利益		
投資有価証券売却益	13	-
特別利益合計	13	-
税金等調整前四半期純利益	1,140	1,210
法人税、住民税及び事業税	316	265
法人税等調整額	23	123
法人税等合計	340	388
四半期純利益	799	821
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	791	819

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	799	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	14
その他の包括利益合計	△25	14
四半期包括利益	773	836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765	834
非支配株主に係る四半期包括利益	8	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において303百万円、1,024,200株、当第1四半期連結会計期間末において302百万円、1,022,200株であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,601	437	4,533	148	304	10,024	6	10,031	—	10,031
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,601	437	4,533	148	304	10,024	6	10,031	—	10,031
セグメント利益又は 損失(△)	391	257	454	73	83	1,260	1	1,261	△123	1,138

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△123百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,843	440	1,213	149	305	6,953	10	6,963	—	6,963
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,843	440	1,213	149	305	6,953	10	6,963	—	6,963
セグメント利益又は 損失(△)	458	259	508	78	62	1,367	2	1,370	△166	1,203

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△166百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2023年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦	ファイナンス・リース	55,327	33.9	55,958	33.6
	オペレーティング・リース	5,506	3.4	5,449	3.3
	リース計	60,834	37.3	61,407	36.9
	割賦販売	22,773	13.9	23,577	14.1
	リース・割賦計	83,607	51.2	84,985	51.0
ファイナンス		32,900	20.2	33,610	20.1
不動産	オペレーティング・リース	25,806	15.8	27,091	16.2
	その他	16,562	10.1	16,517	9.9
	不動産計	42,369	25.9	43,609	26.1
環境ソリューション		4,378	2.7	4,605	2.8
合計		163,256	100.0	166,810	100.0